

普及活動情勢報告（令和7年6月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

環境にやさしい農業の推進 ～水稻栽培での「トロトロ層」形成実証を開始～



須崎市の有機肥料散布状況

5月18日に梶原町、5月26日に須崎市で、水稻栽培での「トロトロ層」の形成実証ほの設置を行いました。

有機肥料の施用でトロトロ層を形成し、土壌中のミネラル成分や肥料成分の吸収向上、有機酸の発生や雑草種子の埋没による抑草効果を狙ったもので、化学肥料、化学農薬を削減できる栽培です。

実証農家からは、「少しでも効果が出てほしい」と期待の声がありました。

農業改良普及課は、今後もトロトロ層の形成の有無を確認しながら品質及び抑草効果の調査を行い、その結果をもとに生産者やJAと協力して環境にやさしい水稻の生産支援に取り組んでいきます。

梶原町全体の集落営農組織を検討してみませんか？ ～中山間直接支払制度説明会～



目標地図に見入る参加者

5月28日～6月9日に、梶原町内6地区の集会所で中山間地域等直接支払制度の説明会が開催され、のべ46人が参加しました。

まちづくり産業推進課から制度改正のポイントの説明と、町全体での集落営農の組織化について説明がありました。農業改良普及課は、町全体で取り組む場合のイメージを説明し、水稻やユズの栽培で将来にわたって農地を守る取組の検討を提案しました。

参加者からは、「町全体でドローンを活用できたら良い」「将来的には全体の集落営農組織は必要」という声がありました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して、どうすれば町全体の集落営農体制ができるか、各区と話し合いを重ねていきます。

全戸巡回で学び教え合う場へ ～津野山土佐甘とう部会現地検討会～



仕立てについて意見交換する参加者

6月3日、甘長とうがらし栽培農家5ほ場で、津野山園芸部土佐甘とう部会の現地検討会が開催され、9人が参加しました。

農業改良普及課は、栽培ほ場の耕種概要、PFメーターや簡易型防水温湿度計の使い方について説明を行いました。

参加者からは、「温湿度を自分で把握して高温対策に繋げたい」「増収のために仕立てを工夫したい」という声がありました。

農業改良普及課は、今後も現地検討会を全戸で開催し、農家間で学び教え合う場とすることで、産地の課題解決につなげていきます。

産地の発展を目指して ～JA土佐くろしお管内農業振興連絡協議会～



積極的に意見交換をする参加者

6月6日、JA土佐くろしお本所で、JA、3市町、農業振興センターが、JA土佐くろしお管内農業振興連絡協議会を開催し、関係者30人が参加しました。

農業改良普及課の進行で、主要品目についての令和7年度活動計画を協議しました。また、ミョウガ出荷形態の変更に関する動向、出荷場の移転課題、水田維持管理対策、災害発生時の体制等について情報共有しました。

参加者からは、「関係機関が連携し、JA土佐くろしお管内の農業振興を図ろう」という声がありました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して産地の課題解決に取り組めます。

梶原町での就農に向けて準備中 ～経営計画作成支援～



営農計画を提案する普及指導員

6月13日、梶原町役場で就農希望者1人と5回目の就農相談を行いました。

農業改良普及課は、就農希望品目の白ネギ栽培を中心とした5カ年計画を提案しました。また、白ネギと組み合わせる補完品目としてユズを示し、定植から収穫までにかかる期間や必要な面積、労働時間について説明しました。

就農希望者からは、現在の雇用主から聞きとった白ネギの収量や単価を元に「泥付きネギの単価を上げたい」「収量目標はこのくらいにする」と意見がありました。

農業改良普及課は、今後も継続して就農相談を行い、経営計画作成の支援をしていきます。

高温対策について学びましょう ～農薬・バイオスティミュラント資材勉強会～



熱心に説明を聞く参加者

6月17日、中土佐町のJA土佐くろしお久礼支所で、農薬・バイオスティミュラント資材勉強会が開催され、45人が参加しました。

農業改良普及課は、高温対策、熱中症対策の説明に加えて、環境測定装置およびSAWACHIによるデータ活用方法について紹介しました。

参加者からは、「遮光・遮熱資材の導入も検討したい」「熱中症に気を付けて作業したい」といった意見がありました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携しながら指導を行い、高温対策、熱中症対策を支援していきます。